

新スポーツセンター基本構想に係る意見交換会（第1回）

議事要旨

【開催概要】

日時：令和7年1月22日（水）午後6時00分～午後8時00分

場所：千代田区役所本庁舎4階会議室

メンバー：早稲田大学スポーツ科学学術院教授 木村 和彦

千代田区体育協会 菅野 豊

千代田区スポーツ推進委員協議会 植田 浩敏

千代田区青少年委員 中村 あけみ（途中退席）

千代田区健康づくり推進員 荘 絵里子

千代田区障害者共助会 高橋 美智子（欠席）

スポーツセンター避難所運営協議会（内神田鎌倉町会会長） 田熊 清徳

事務局：千代田区地域振興部生涯学習・スポーツ課

【次第】

1 開会

2 挨拶

3 報告

新スポーツセンター基本構想（素案）の振返りと更新について

4 意見交換

5 事務連絡

今後の予定

6 閉会

【資料】

資料1 新スポーツセンター基本構想に係る意見交換会 実施概要

資料2 新スポーツセンター基本構想（素案）の振返りと更新について

（参考資料）新スポーツセンター基本構想（素案）（平成31年3月）

【議事要旨】

1 開会

2 挨拶

◎司会（学識経験者）

学識経験者よりスポーツに関する動向として3点の講演があった。

①スポーツの範囲について

②全国で整備が進んでいるアリーナについて

③部活動の地域連携・地域移行について

3 報告

<新スポーツセンター基本構想に係る意見交換会実施概要>

●事務局

資料1に基づき報告

・新スポーツセンター基本構想に係る意見交換会実施概要

・本日の流れ

<新スポーツセンター基本構想（素案）の振返りと更新について>

●事務局

資料2に基づき報告

・これまでの経緯

・建設地の決定について（令和3年度）

・利用者アンケート等の実施について（令和4年度）

・（参考）スポーツにおけるDXについて

・新スポーツセンターのコンセプトの振返り

・新スポーツセンターの基本方針の振返り

・新スポーツセンターの果たす役割・導入機能の振返り①・②

4 意見交換

<意見交換①：コンセプトの更新について>

◎司会 コンセプトの更新について、事務局からは普遍的な内容であり変更の必要がないのではないかと説明があったがいかがか。

○参加者 幅広い区民が楽しめることに共感する。

○参加者 意義なし。

<意見交換②：基本方針の更新について>

◎司会 基本方針の更新について、事務局からは普遍的な内容であり変更の必

要がないのではないかと説明があったがいかがか。

○参加者 町会活動をしているとマンション住民との交流などに課題があると感じている。基本方針④の修正は不要と考えるが、まちづくりに貢献するという方針の背景の1つとして意識していただきたい。

○参加者 利用者の希望を取り入れ、災害にも配慮した施設づくりに同意する。

◎司会 基本方針の更新について、その他の意見がなければ事務局説明のとおりとさせていただくがいかがか。

○参加者 異議なし。

<意見交換③：役割・導入機能の更新について（DX等の観点を踏まえた更新）>

◎司会 役割・導入機能について事務局からDX等の観点を踏まえた内容を加えてはどうかと説明があったがいかがか。

○参加者 DXなどの最新技術の活用は大変魅力を感じた。一方で、AIカメラの活用は、個人情報の観点で運用面での懸念や課題はないか。現在のスポーツセンターでの大会開催時は原則として写真撮影は禁止している。

●事務局 撮影した映像をインターネット上に誰でもアクセスできる形で公開することは慎重に検討する必要がある。例えば、一定の距離を保った映像とすることや、大会開始の際は開催要綱などで周知することなど、運用面でのフォローは必要になると考える。

○参加者 例えば、メインアリーナの観客席が不足するような場合に、AIカメラを活用してリアルタイムの映像をオンライン配信することで観客席の不足を補完するような使い方もできるものか。

●事務局 ご指摘のとおりである。スマホのアプリでリアルタイムに映像をオンライン配信するとともに、チャットによる応援機能などのサービスも出てきている。また、施設内でもエントランスやロビーなどにモニターを設置し、大会開催時に映像を投影するなどの方法も可能である。

○参加者 避難所としての機能について、備蓄倉庫が地下にあり動線が悪い状況にある。また、災害関連死のことを考慮すると、避難所は快適な空間である必要もあるなど様々な課題がある。新スポーツセンターの整備にあたっては、避難所としての課題も解消していただきたい。

◎司会 ただ今のご意見は、事務局から説明のあった基本方針⑤の更新について賛成の立場からのご意見という認識でよろしいか。

○参加者 ご認識のとおりである。

○参加者 民間施設に引けを取らない運営や未来の子供たちのスポーツ育成を考えた使いやすい施設づくりに共感する。

◎司会 様々ご意見が出たが、DX等の観点を踏まえた更新については、事務局説明のとおり進めることでよろしいか。

○参加者 異議なし。

<意見交換④：役割・導入機能の更新について（建設地の決定を踏まえた更新）>

○参加者 現地での建替えにあたり、容積率800%は使いきることになるか。近隣の再開発事業では高さ100mを超える高層ビルが建設されている。

●事務局 現在のスポーツセンターも容積率800%は使い切っておらず、道路斜線制限や隣地斜線制限により建設可能な建物の高さが制限されるため、その範囲内で計画する予定である。

○参加者 プロスポーツチームの誘致や、コンサート開催できるような規模のアリーナは現地での建替えの中で整備することはできるのか。

●事務局 現地での建替えの中ではそのような規模での整備は困難と考えている。全国的な動向として大規模なアリーナ整備が進んでいることは認識しているが、区立のスポーツセンターは区民の皆様や千代田区に在勤・在学される皆様に日常利用いただく施設であることが役割だと考えている。

○参加者 川沿いの立地を活かした整備は、水質や臭気の問題もあるので難しさがあると思う。例えば、川端緑道などの施設周辺エリアもスポーツの観点で活用するような検討も必要だと思う。

○参加者 現地建替えで進むということであるが、メイン競技場の機能としてコート3面を実現していただきたい。

●事務局 コート3面の確保については素案策定時にも具体的なお要望としていただいております。大会開催を含め区民の皆様へのサービス向上や避難所としての機能向上にも資するものと認識している。このことから、建設地に隣接する公共施設との連携の可能性を含め、平面の拡大を図ることができないか腐心したいと考えている。

○参加者 ぜひ、一体での整備を進めてほしい。また、事務局からあった観点も含め、平面規模の拡大で得られる効果は非常に大きいと考えている。いくつか理由を説明させていただく。

現在は限られた時間で大会を運営しているため、ウォーミングアップの時間が取れず、特に冬場はケガをする参加者が増えてしまう状況がある。また、朝から夜遅い時間まで試合を組むことは運営側の負担も

大きい。

6人制のバレーボール大会は16チームまでの参加としているが、実際には倍近いチームからの参加申込みがある。その他の競技でもコート3面になることで参加チーム数を増やすことが可能となる。

競技大会を2コート使用して開催し、残りの1コートでジュニアの育成大会やイベント等を同時に開催するなど様々な計画が可能となる。

競技大会の運営時間がタイトなため、トーナメント戦の場合、土日の予定を確保しても1試合で終わってしまう参加チームも出てくる。参加チームの満足度の観点で課題があるが、コート数を増やすことで複数試合を組むような計画も可能となる。

ママさんバレーボール大会は複数日で大会日程を組んでいるが、3面あれば同一日程での開催も検討でき、参加者の交流創出が図られる。

◎司会 川沿いの立地という観点では、カヌーなども想像したがいかがか、水質の問題が厳しい状況であるか。

○参加者 やはり、雨が降ると下水がオーバーフローする状況であり、水質や臭気の問題は厳しい状況である。特に、下流域になるほど、上流でオーバーフローした下水も流入するため、上流とは異なる状況もある。ただし、雨の降らない日が続くと水が澄んでいるような日もある。

◎司会 様々ご意見が出たが、建設地の決定を踏まえた更新については、事務局説明のとおり進めることでよろしいか。

○参加者 異議なし。

<意見交換⑤：自由意見交換>

○参加者 麴町エリアや富士見エリアからアクセスする際の利用者の利便性を考慮し、かざぐるまの運行ルートを改善することを検討いただきたい。

○参加者 新スポーツセンターには、ちよくるのポートを設置していただきたい。スポーツセンター周辺のポートが飽和している状況がある点も考慮いただきたい。

○参加者 スポーツをしない区民にも足を運んでもらえるような魅力的な施設としてほしい。例えば、サウナやカフェなどの機能、流れるプールなどがあると魅力を感じていただけるのではないか。

○参加者 ゴルフの機能が屋外に設置されていることで音の問題があり、現施設の課題である。屋内でのゴルフ練習場も増えてきている。

○参加者 スポーツや施設の多様な考えを持ってスポーツセンターの建築にあたる必要があると感じた。

- 5 事務連絡
今後の予定
- 6 閉会